

FY2022 NICE

主催者あいさつ

2022年度の「北東アジア経済発展国際会議（NICE）イン新潟」は、新型コロナウイルスの感染が終息しない中、オフライン（会場：朱鷺メッセ）とオンラインの両方で開催します。前回までは毎年1月から3月にかけて開催していましたが、今回のNICEは12月の開催となります。コロナ禍を考慮して、前回と同様、12月1日と16日の2回に分けて行います。

NICEは、その前身である「北東アジア経済会議」（1996－2006年）及びその前の「環日本海交流圏フォーラム」（1990－95年）を含めると、今回で31回目の開催となります。今回も、経済問題とエネルギー・環境問題を持続可能な経済発展の実現という視点からトータルに捉えていきます。

ERINAは1993年に設立されてから30年目になり、設立当初から新潟県、新潟市とともにNICEの運営に当たってきました。北東アジアの経済発展と域内経済協力の強化に向けて、各国の経済動向・対外経済関係の調査研究を行い、域内経済交流の活性化のための支援や、経済・ビジネス情報の対外発信に取り組んできました。とくに中国の東北地域、ロシアの極東地域、韓国、北朝鮮、モンゴルに焦点を当て、日本及びこれら諸国との経済的な相互依存関係や国際運輸・物流、貿易・投資、資源・エネルギー・環境、開発金融、人的交流などの分野に力を入れてきました。分析の視野を、北東アジアと米国・欧州・中央アジア・東南アジアなどとの経済関係にも広げつつあります。北東アジアの平和・安定・繁栄のための経済的な基盤の拡大・強化に寄与すべく、「シンク・アンド・ドウ・タンク」として諸課題を特定し、解決策を提示し、政策提言を行ってきました。

2020年初に始まった新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、米中の戦略的競争も深刻化する中、2022年2月にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、米欧日が包括的な対ロ経済・金融制裁を科したことで、世界経済は分断されつつあります。また、世界各国のエネルギー・食料安全保障も脅かされています。世界経済の分断は、世界的に経済効率を低下させ、経済成長を鈍化させ、市民生活にも悪影響を及ぼしています。主要国首脳間の意思疎通の不足は、西側と東側（ロシアや中国）の間の国際関係を一層不安定化させるリスクがあります。

今回のNICEでは、全体テーマを「分断が進む世界経済—つながりを求めて」として、世界経済・経済安全保障、農業・食料、エネルギー・気候変動の各分野で専門家による議論を通して、北東アジア地域だけでなく世界レベルでの国際協調とりわけ国際経済協力の可能性を探ります。

FY2022 NICE

第1日目の12月1日には、まず、宮本アジア研究所の宮本雄二元駐中国特命全権大使から「分断が進む世界における日本の役割」と題して特別講演を行って頂きます。それに続く「経済安全保障セッション」では、米中の戦略的競争とサプライチェーンのデカップリングの可能性、ロシアのウクライナへの軍事侵攻と米欧日による対口経済・金融制裁、主要国の経済安全保障政策の3つの論点に焦点を当てて、いかにすれば世界経済の分断を回避できるかについて議論を深めます。続く「農業・食料セッション」では、世界的な食料需給の変化を考慮しつつ、北東アジア地域の食料安全保障を維持し農業と農村地域の持続可能な発展に資することをめざし、各国の農産物貿易の特徴や構造、農産物価格の動きなどに関する現状認識と将来展望について議論します。

第2日目の12月16日には、「エネルギー・環境セッション」で、ウクライナ危機を契機に化石燃料の安定的な供給が不透明になりつつある中、エネルギー安全保障の観点からも再生可能エネルギーへの移行促進が喫緊の課題になっていることを取り上げます。具体的には、北東アジア地域で最も多くの温室効果ガスを排出している電力・工業・運輸部門に焦点を当て、エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル実現を両立させるための政策課題と民間部門の取組みについて議論します。

同じく第2日目には、「エネルギー・環境セッション」の前に、「第4回 Future Leaders Program」を開催します。国内の大学生・大学院生に「北東アジア地域の未来シナリオ」について問題提起をし、解決策を見出してもらうものです。プレゼンテーションのかたちで互いに競い、最優秀のグループには新潟県知事賞が贈られます。このプログラムを通じて、若い世代の方々に北東アジア地域やそれを含む国際的な問題に取り組む将来のリーダーになってくれることを願っています。

第2日目の最後には、NICE 実行委員長として「分断が進む世界経済—北東アジア地域の課題と展望」と題してお話しさせていただき、2日間の会議を総括します。

2022年度のNICEを通じて、世界経済の分断が進む中、経済安全保障、農業・食料、エネルギー・環境という重要な分野で、北東アジア地域の直面する諸課題についての認識が共有され、課題解決に向けた多面的かつ現実的な経済協力の方向・行動が示されることが期待されます。若手世代の活躍にも注目しています。今年度のNICEがこれまでと同様、全てのオフライン・オンラインの参加者の方々にとって有益なものになるよう、活発な議論をお願いいたします。

NICE 実行委員長
ERINA 代表理事・所長 河合正弘